

# ワールドステイ

サービス付き高齢者住宅

住宅型有料老人ホーム

## 少々困難な入居案件事例集



栃木県・群馬県・茨城県・埼玉県・新潟県・長野県・石川県・広島県

株式会社 **ワールドステイ**

# 少々困難な入居案件事例集

## 目 次

- 事例① 身元保証人がいない方の事例
- 事例② 生活保護受給者で身元保証人のいない方の事例
- 事例③ 医療依存度が高く、医師の指示により、  
訪問看護利用の入居希望者(入院治療3カ月以内)の事例
- 事例④ 経管栄養、たん吸引併用の入居希望者  
(24 時間たん吸引可能+訪問看護利用可能)の事例
- 事例⑤ 認知症で徘徊が多い入居希望者の事例
- 事例⑥ 脳梗塞発症後リハビリ希望している入居希望者の事例
- 事例⑦ 糖尿病によりインスリン管理が必要な事例
- 事例⑧ 年金範囲で入居できる施設を探している入居希望者の事例
- 事例⑨ 透析が必要な方の入居事例
- 事例⑩ 精神疾患の入居希望者事例(訪問看護の精神科訪問看護)
- 事例⑪ 冬の時期だけの入居利用(5 ヶ月程のロングショート利用)
- 事例⑫ 障がい GH からの転居事例  
(引き続き就労 B 型利用のちに通所介護利用)
- 事例⑬ 老人保健施設からの入居事例(3 か月以内の入居)
- 事例⑭ 急性期病院→慢性期病院から入居事例(3 ヶ月以内の入居)
- 事例⑮ 新型コロナウイルス感染症の対応について

## 事例① 身元保証人がいない方の事例

年齢 80 歳 男性 認知症

単身で生活されていたが、『様子がおかしい』と近隣住民から民生委員の方に相談。火の不始末等の心配もあるので、一人で生活するのは難しい状況。子供とは疎遠で連絡がつかない為、身元保証人となる人が居ない。何とかならないか？と民生委員から当社に相談がありました。

➡当社は問題なく受け入れを行っているため、速やかに入居していただきました。現在はデイサービスに通い、訪問介護による通院乗降介助サービスを利用して通院しているので、認知症の進行を抑えられ、入居施設職員からの支援を受けながら安全に生活することができています。

## 事例② 生活保護受給者で身元保証人のいない方の事例

年齢 72 歳 女性 脳梗塞

脳梗塞のため入院、退院後は自宅での生活は難しい状況。生活保護受給者で身元保証人もありません。施設へご入居を検討していますが身元保証なしでは施設入居を断られてしまい困っています。と病院のソーシャルワーカーからの相談がありました。

➡当社は、生活保護受給者でも、身元保証人がいらっしゃらなくても入居できます。ソーシャルワーカー、ケースワーカーと連携し、入居となりました。現在は、デイサービスでの体操やレクリエーションで積極的に体を動かし後遺症もほとんどありません。周囲の方とも良好な関係を築き、和やかに毎日を送られています。

## 事例③ 医療依存度が高く、医師の指示により、訪問看護利用の入居希望者

### (入院治療3カ月以内)の事例

年齢:76 歳 男性 前立腺肥大に伴うバルーンカテーテル留置 脳血管性認知症 左片麻痺

脳梗塞後、左方麻痺による車椅子使用、認知症もあり、バルーンカテーテルの管理も必要なため看護支援を受けられる施設への入居相談がありました。

➡バルーンカテーテル留置により尿路感染症リスクが非常に高くなっていますが、訪問看護サービスで定期的に留置カテーテルの管理を行い、主治医との連携により体調を崩されることなく生活できています。



## 事例④ 経管栄養、たん吸引併用の入居希望者

### (24 時間たん吸引可能+訪問看護利用可能)の事例

年齢:87 歳 男性 難病:進行性核上性麻痺 胃ろう経管栄養

難病の影響による食事摂取が難しくなり胃ろうとなり、経管栄養管理と 24 時間の痰吸引が必要な方でも入居できる施設はないかと相談をありました。

➡当社の一部施設では、訪問看護事業所が併設され、喀痰吸引等の資格を持っているため夜勤者が配置されているので受け入れが可能です。訪問看護による経管栄養管理と日常の体調管理、24 時間痰吸引可能な体制により安心した生活することが出来ています。デイサービスに通い、入浴、レクリエーションへの参加もされメリハリのある生活をしていただいております。

※ワールドステイ福居(栃木県)のみ

## 事例⑤ 認知症で徘徊が多い入居希望者の事例

81 歳 女性 アルツハイマー型認知症

認知症による徘徊が非常に多く、幻覚・妄想等の症状も現れ、近隣トラブルが絶えなくなった為、ご家族から入居相談がありました。

➡入居後も日中・夜間ともに徘徊する様子が見られていましたが、日中はデイサービスを利用し常に見守りが出来る環境で安全に過ごしていただいております。施設職員・デイサービス・訪問介護職員の適切な対応・見守りにより不安が解消され落ち着いて過ごしています。他利用者様との交流やイベント・レクリエーション参加により認知症悪化予防と心身のリフレッシュを行っていただいております。

## 事例⑥ 脳梗塞発症後リハビリ希望している入居希望者の事例

72 歳 女性 脳梗塞による右片麻痺

脳梗塞発症後、老健を経てデイケアにて急性期リハビリを行うも麻痺により思うように体が動かない。家族も遠方に住んでおり、『家族に心配かけたくないが、今後の生活が心配』との事でご本人より入居の相談がありました。

➡リハビリを継続したいと希望があり、デイサービスでの機能訓練の他に訪問看護でのリハビリや助言、訪問介護を利用して日用品の買い物支援など受け、自分でできることを増やして行くためにリハビリに励んでいます。



## 事例⑦ 糖尿病によりインスリン管理が必要な事例

74歳 男性 糖尿病（インスリン注射） 認知症

糖尿病によりインスリン注射を自己管理で行っていたが、認知症により注射の打ち忘れが多くなり、気分不良や意識消失すること多くなり、担当のケアマネジャーより相談がありました。

➡施設に入居して頂き、食事の管理、訪問看護によるインスリン管理などの支援を受けています。栄養管理やインスリン管理により体調も安定され、デイサービスに通いレクリエーションへの参加や他のご利用との談話を楽しんで過ごして頂いています。

## 事例⑧ 年金範囲で入居できる施設を探している入居希望者の事例

74歳 男性 高血圧 糖尿病 狭心症

アパートで一人暮らしをされていたが、身の回りのことを一人ですることが大変になってきていた。自分で施設をいくつか調べたが年金15万円に入れるところがなく、今後の生活に不安を抱えていたが、知人から紹介があったとの事で相談受けました。

➡入居費用だけであれば10万円前後で入居が可能、金額に納得して頂き入居されました。

身の回りのことは自分でされ、食事が一番の悩みであったが施設に入居してから栄養管理された食事内容となり血圧・血糖の数値も安定され、一人ではない安心感に大変満足して頂いています。

## 事例⑨ 透析が必要な方の入居事例

67歳 女性 糖尿病 人工透析

一人暮らし。透析のため週3回通院している。透析へは病院の送迎サービスを利用しています。高齢になり、施設への入居を希望しているが、透析者を受け入れてくれる施設も少なく、受け入れてくれる施設があっても近隣の透析病院の空きがない。透析の治療を受けられる施設はありませんかと相談を受けました。また、近隣で透析病院・クリニックを利用し、入居を出来ないか？相談を受けました。

➡近隣の透析病院の空きさえあれば、送迎は施設職員か訪問介護の有償運送サービスにより対応可能です。施設では透析食が対応可能なので、食事面でも安心して施設で生活して頂いています。（※透析病院の空きがないという状況が増えてきています。そこで、当社が連携する医療機関が当社専用の透析設備を完備したクリニックを開設する予定になっています。専用の透析設備があれば、感染症等になった場合も、個別に対応することもできます。また、看護師も日頃から状態を把握している者が対応するため、安心です。）



## 事例⑩ 精神疾患の入居希望者(訪問看護の精神科訪問看護)

66歳 女性 アルコール性認知症 (アルコール依存症 躁鬱病の既往歴有り)

家族から、精神科病棟から退院の許可が出たが、今までの経験から、一緒に生活することがとても不安。

介護認定を受けることができたので、24時間見守りをしてくれる施設で生活させたいと相談がありました。

➡基本的には、嗜好品の購入は自由ですが、医師の指示や、ご家族の判断で禁止されている物については、禁止させていただきます。また、自由に購入してしまう可能性のある方は、お小遣いをお預かりして、管理をさせていただきます。精神疾患のある方は、環境の変化等で心身の安定を図ることが困難なので、訪問看護の精神科訪問看護のサービスで、定期的に看護師が体調の確認をしながら、お話を伺っています。1対1で、じっくりお話を伺うことで、異常の発見も早く、病院に戻ることなく生活できています。

## 事例⑪ 冬の時期だけの入居利用(5カ月程のロングショート利用)

85歳 女性 骨粗しょう症 腰痛症

独居の方。ご家族は遠方。豪雪地帯で生活されているため、近所の方が気にかけてはくれているが、自分も生活に不安を抱いている。しかし、まだまだ一人での生活を続けたいので、冬の間だけ、高齢者施設で生活したい。期間限定でも入居することはできますか？と問い合わせをいただきました。

➡雪深い地域の施設には、時折、このような相談がありますが、もちろん入居は可能です。一人での生活を続けたいというお気持ちを尊重し、ご自宅に戻った後でも安全な生活が送れるように、デイサービスで機能訓練を受けていただき、筋力、体力の低下を防止。また施設の簡単なお手伝いもお願いし、自宅での家事も問題なく行えるよう支援しています。暖かい施設で、安心して冬が越せると、とても喜んでいただけています。もちろん、そのまま入居を続けていただくことも可能です。

## 事例⑫ 障がい GH からの転居(引き続き就労 B 型利用のちに通所介護利用)

65歳 男性 広汎性発達障害

障がい者グループホームを利用しながら、就労継続支援事業 B 型に通われていた。65歳になったので、介護保険サービスに切り替わるため、老人ホームへの転居を希望していると、担当の相談支援専門員の方から相談がありました。知的に遅れはあるものの、真面目に就労事業所へ通われているため、体力に心配のない間は引き続き通いたいという希望もありました。

➡慣れ親しんだ居住地から転居されることは、とても不安があると思い、日中活動の場だけでも、継続する生活スタイルがご本人の精神的安定に繋がると思いました。介護保険サービスにはない就労サービスは、65歳になっても利用することが可能なので、就労事業所の職員さんの送迎により、毎日お仕事に行かれています。もし、体力的に厳しい状態になった場合、介護保険での通所介護をご案内し、そこでレクリエーション等に参加していただきながら、安定した生活ができるように支援したいと考えています。



## 事例⑬ 老人保健施設からの入居(3か月以内の入居)

78歳 男性 転倒による大腿骨頸部骨折

介護老人保健施設に入所しているが、3か月经過するため、在宅復帰をさせなければならない。しかし、まだ介護が必要なため、家族が自宅に帰ってこられても困ると言っている。本当はもう少し介護老人保健施設にいて欲しいと希望されているので、3か月限定で、入居することは可能か？と担当ケアマネジャーから問い合わせがありました。

➡当社で運営している住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅はどちらも在宅扱いの施設です。介護老人保健施設は在宅復帰を目的としていますが、状態により、自宅への退院が不可能な方も多くいらっしゃいます。また、専門的なりハビリや、金銭面を理由に、老健施設へ戻りたいという方も少なくありません。退所されてからの3か月間という短期の入居にはなりますが、デイサービスでの機能訓練を受けながら、安全に生活されています。

## 事例⑭ 急性期病院→慢性期病院からの入居(3か月以内の入居)

69歳 男性 脳出血

脳出血により、急性期病院へ救急搬送された。生命の危険もあったが、安定され、慢性期病棟へ移った。状態が落ち着いたため、医療的な関わりを必要とせず、病院から施設での生活を勧められたと、ご家族から問い合わせがありました。急性期・慢性期病院後(3か月以内)、問い合わせがありました。

➡病院までご本人に会いに伺い、担当看護師さんとの話をした上で、入居可能と判断させていただきました。

ご本人の状態は、下肢の硬直、経鼻経管栄養、頻繁ではありませんが、喀痰吸引が必要でした。ご家族はもう少し病院で、専門的なりハビリを受けたいと希望されていましたが、退院しなければならず、入居施設からデイサービスに通所し、看護師による機能訓練を受けられて、安全な生活を送られています。また、経管栄養の対応や喀痰吸引も施行しなければならない為、定期的に訪問看護も介入しています。

## 事例⑮ 新型コロナウイルス感染症の対応について

➡当社ワールドステイの入居施設では、入居前に必ず PCR 検査を受けて頂き、陰性を証明して頂いてからのご入居とさせて頂いております。その上で、更に、入居後1週間は居室での隔離対応をご了承頂いております。これは、施設でのまん延を防止するための措置ですので、皆様にご理解頂けます様、お願い致します。居室対応中は、スタッフが細目にお部屋に訪問したり、退院時の指示を受け、訪問看護師が訪問させて頂き、安全な生活を支援致します。

しかし、最新の注意を払っていても、施設内で感染症が発生してしまうこともございます。その場合は、まん延防止策として、通常の介護サービスではなく、居室での対応に切り替えさせていただき、主治医と連携をとりながら、皆様の支援を行う形をとらせて頂く事になります。必要な場合は、訪問診療(外部医療クリニック等)、訪問看護、訪問介護のサービスもご提供させて頂き、万全の体制で、早期終息に向けて動いて参ります。スタッフも、毎日健康観察を記録に残し、県外外出の際には外出届を提出。目的によっては待機期間を設けたり、入社前には抗原検査(2日間)も実施し、施設内への持ち込みが無いよう、細心の注意を払っております。

また、感染症研修も定期的を実施しておりますし、感染対策専門員の有資格者も多く配置しております。感染症が発生した場合、通常ではないサービス提供となりますが、都度ご連絡とご相談をさせていただきますので、何卒、皆様にご理解頂けます様、お願い申し上げます。

## ワールドステイの施設で対応可能な医療的ニーズ等

○認知症	○在宅酸素	○人工肛門	△肝炎	○生活保護受給
○胃ろう	○インスリン	○ペースメーカー	△癌	○身元保証人無
○鼻腔経管栄養	○バルーンカテーテル	○パーキンソン	×IVH	
△喀痰吸引	△人工透析	△MRSA		

○ 全施設対応可能    △ 一部施設対応不可    × 対応不可

施設毎に対応可能なニーズが異なります。詳しくは下記までお問合せ下さい。

◇◇◇ お問合せ一覧 ◇◇◇				
	窓 口	担当者	電話番号	所在地
栃木県	WS 佐野下田	山口	0283-86-9990	栃木県佐野市堀米町 2627
	地区担当営業	原	080-3830-9849	
群馬県	花鳥風月おおた	川田	0276-40-1140	群馬県太田市飯塚町 91-1
	地区担当営業	原	080-3830-9849	
	渋川・沼田地区担当	渡邊	080-3087-8376	
埼玉県	地区担当営業	原	080-3830-9849	
茨城県	WS ともべ	大場	0296-73-5015	茨城県笠間市旭町 587-6
	地区担当営業	芳賀	080-7652-1459	
長野県	WS グラン池ノ前	原	0267-31-6541	長野県小諸市御影新田池の上 2190-3
	地区担当営業	加藤	080-3087-8392	
新潟県	WS 新潟支社	小柳	025-383-8222	新潟県新潟市江南区曙町 3-2-18
	地区担当営業	八木	080-9651-3543	
	長岡地区担当	目黒	080-3835-5805	
石川県	WS ののいち	橋本	076-259-1822	石川県野々市市栗田 5-391-1
	地区担当営業	松本	080-3830-9853	
広島県	WS 平政	小西	082-814-7350	広島県広島市安佐北区可部 7-19-8
	地区担当営業	新美	080-4057-6992	

上記の他、総合的なお問合せについては、下記にご連絡下さい。些細なことでも大丈夫です。

株式会社 ワールドステイ(本社) 栃木県足利市堀込町 2462-1

電話:0284-70-6200 FAX:0284-70-6201 担当:鈴木

◆入居申し込みに関する資料(入居申込書・健康診断書・情報提供書)は下記 HP からダウンロードできます➡ <https://www.worldstay.jp/>